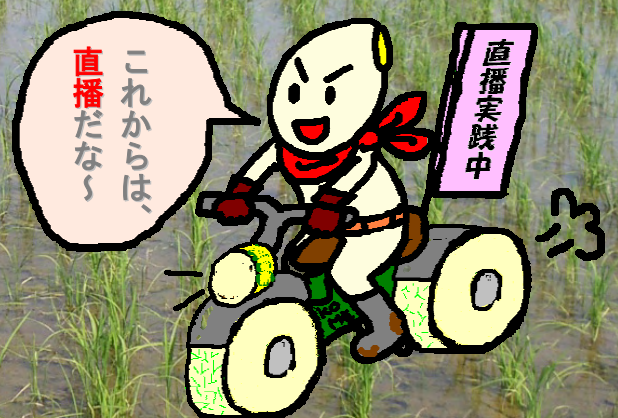


水稲直播栽培に チャレンジ！

苗作りや苗運びから解放！

春の播種や移植作業が分散！！

稲刈り時期の分散！！！！



水稻直播栽培はとっても楽々

直播栽培

移植栽培

種子消毒
浸 種

30a 分は 20 分で終了

コーティ
ング



- 苗づくり・苗運びから解放！
- 育苗ハウス不要！
- 労働力不足や高齢化対策に！

労働費 20% カット

たった一人でラクラク作業

播 種



種子消毒
浸 種

播 種
箱だし
育 苗

大勢で箱だし作業
毎日の育苗管理

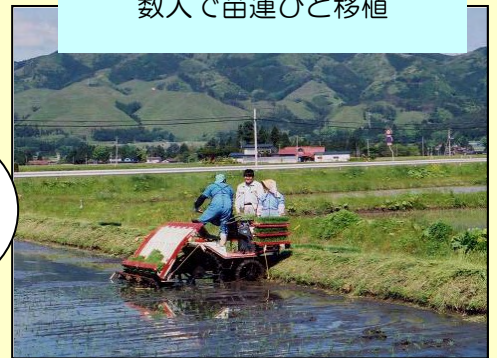


育 苗
管 理

苗運搬

数人で苗運びと移植

移 植



直播栽培では成熟期が
移植より 7~10 日遅くなる

- 刈取り作業が分散！
- 農機具の有効活用！
- 経営規模拡大を実現！



水稻湛水直播栽培ごよみ

月

旬

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

中旬

下旬

上旬

中旬

下旬

上旬

中旬

下旬

上旬

中旬

下旬

上旬

中旬

下旬

上旬

中旬

下旬

上旬

中旬

下旬

上旬

中旬

下旬

生育ステージ

播種期

出芽期

分けつ期

最高分けつ期

幼穂形成期

減数分裂期

出穂期

成熟期

水管理

入水

完全落水

入水

浅水

湛水

落水

間断灌水

低温の場合深水

湛水

完全落水

作業体系

比重選種子消毒浸種

催芽

加パコーティング

播種

落水対策

除草剤散布

追肥

中干し

追肥

落水対策

収穫

施肥

耕起

代かき

初期害虫防除

葉いもち予防粒剤

穂いもち予防粒剤

葉色が濃い場合イネツトムシの発生に注意

移植栽培より7～10日遅くなる。

栽培技術のポイント

◆品種の選定

倒伏しにくい多収品種が適する
どんぴしゃり、かけはし、ひとめぼれ、いわてっこもち美人、ヒメノモチ など

◆種子の準備

比重選、種子消毒、浸種は移植栽培と同様の方法で行う。
催芽は鳩胸状態とし、芽は1mm以上伸ばさないようにする。

◆酸素供給剤（カルパー粉粒剤 16）の粉衣

乾籾重の等倍量のカルパー粉粒剤 16 を粉衣する。
コーティングマシンを利用すると均一な粉衣ができる。

◆耕起・代かき

秋耕によるワラの腐熟促進と浮きわらの低減を図る。
代かき時の水の量に注意し、稲株やわらを露出させないこと。
トラクター旋回部分の田面が低くなり、水が溜まりやすくなるので、外周を最後に仕上げるなど旋回方法を工夫し、均平に仕上げる。

◆施肥

〔基肥〕窒素肥料は移植栽培並みに施用する。
〔追肥〕幼穂形成期に窒素成分で2kg／10aを基本。ただし、苗立本数が100本／㎡以下の場合は6月中旬頃までに窒素成分で2kg／10a追肥する。

◆播種

〔播種時期〕5月上旬～5月中旬〔播種量〕乾籾 4～6 kg／10a
〔目標苗立ち数〕80～120 本／㎡
〔播種方法〕
・条播：多目的田植機に直播機を取り付けるなどして播種する。
・散播：落下種子が1 cm以内の土中に埋没するように、停滞水がないような状態で背負い式動力散布機やRCヘリを利用して播種する。

◆播種後の水管理

播種後出芽揃い期まで完全落水。
それ以降は浅水で管理する。
（注意）種籾が土壌表面に露出している場合には、播種直後に軽く入水して覆土を促す。

◆出芽時の入水

出芽が揃った場合は、鳥害防止のため時期を失しないよう適期に入水する。

◆除草剤散布

以下の体系などで防除を実施する。
〔一発処理剤〕※水持ちが落ち着いた入水 2 回目最適
〔トップガン 250 グラム 250g/10a
ラクダープロ 707 プール 500mL/10a〕⇒ クリンチャー 1 扣粒剤
+10～+25(ヒエ 3 葉迄)1 kg/10a
+25～+30(ヒエ 3～4 葉迄)1.5 kg/10a
（注意）ヒエの発生が早い場合は、入水前にクリンチャー EW など散布

◆害虫防除

初期害虫が目立ち実害の生じる恐れがあったら、必要に応じ農薬登録のある殺虫剤を散布する。

◆葉いもち・穂いもち防除

移植栽培に準じて葉いもち・穂いもち予防粒剤等を散布。

◆収穫・乾燥

ほ場全体をみて籾の 80～90% が黄色くなった頃に収穫。
乾燥では二段乾燥(籾水分 18% で 12 時間休止)を励行する。

直播栽培実践者インタビュー

紫波町 高橋 信 さん（現、いわて直播栽培米研究会会長）



平成 10 年からモチ米で直播栽培に取り組んでいます。導入当初は収量が伸びませんでしたが、あきらめず試行錯誤を重ね、最近は移植栽培と遜色ないくらいの収量を確保できるまでになりました。その間、直播栽培の面積も徐々に増やし、経営規模の拡大につながっています。

また、りんご栽培にも取り組んでいますが、直播面積の拡大により育苗作業が省略できるので、春作業の労力軽減にもつながり、直播栽培のメリットを実感しています。

現在、私は、直播栽培を実践している生産者で組織している、「いわて直播栽培米研究会」の会長を務めさせていただいていますが、この仲間との情報交換が直播栽培だけでなく、稲作経営全体を考えるいい機会となっています。

直播栽培に関心のある皆さん、是非、この研究会に参加し、直播栽培に挑戦してみてください。

北上市（有）西部開発農産 菅野 一成 さん



受託面積の拡大に伴う育苗作業の限界を感じ、平成 19 年に直播栽培に初めて挑戦しました。いきなり約 10ha と大面積での取り組みとなりましたが、圃場条件や管理により生育に大きな違いが出ることが良くわかり、これならいけるという自信につながり、直播栽培を導入して良かったと実感することができました。

あらかじめ、前の年から「いわて直播栽培米研究会」や普及センターの行事に積極的に参加し、諸先輩や普及センターの職員から様々な技術的な助言・指導を受けたことが非常に効果的でした。

今後は直播栽培面積を更に拡大し、経営の改善につなげてゆきたいと考えています。



一関市 小野 正一 さん



経営規模の拡大を目的に、平成 13 年から直播栽培に取り組んでいます。

私自身、新たな技術へ挑戦したいという思いが強いこともあり、そういう点からみても、この直播栽培技術は経営面だけではなく稲作技術を研ぐに値するものであると考えています。毎年、「いわて直播栽培米研究会」の仲間と情報交換しながら、播種方法や栽培法など検討しながら技術向上を図っており、今では直播栽培を経営の一部としてしっかりと位置付けています。平成 19 年からは、倒伏やいもち病に強く多収が期待できるといわれている「どんぴしゃり」を栽培し、直播に適するかどうかを見極めていくところです。

「いわて直播栽培米研究会」について

生産者相互の技術研鑽と直播栽培技術の普及をめざして、平成 13 年 3 月に設立された生産者による全県的な組織です（現会長は紫波町の高橋信氏）。

この研究会は、毎年定例的に、播種技術講習会（5 月）、現地視察並びに検討会（6 月）、定期総会並びに研修会（2 月）などを開催しており、生産者相互の情報交換や普及センターや農業研究センターと一体となって技術の向上を目指した活動を行っています。

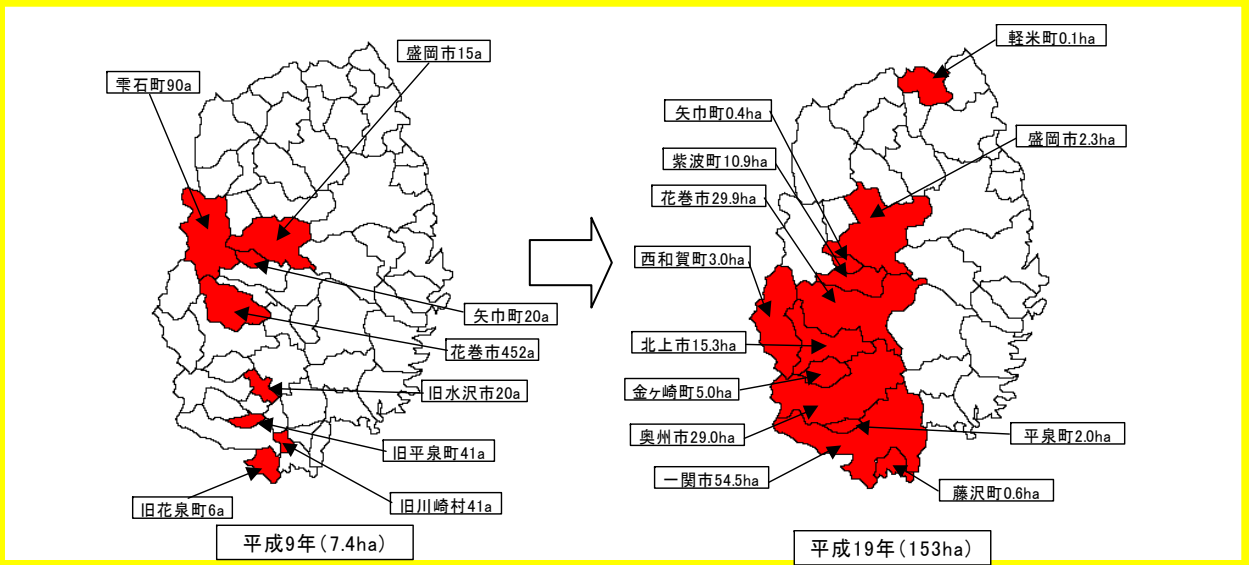
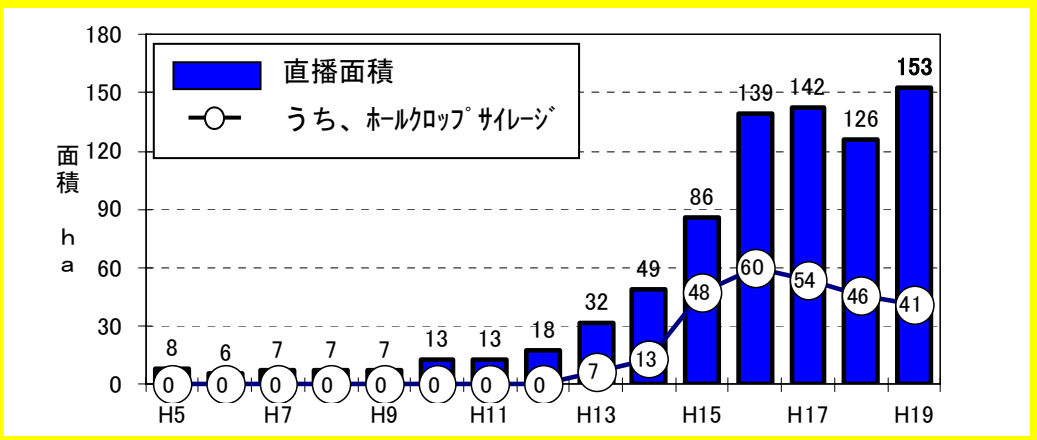
直播栽培をやってみたい方や興味のある方なども自由に参加できます。

詳しくは、「農業普及誌 2008 年 2 月号」をご覧ください。最寄りの普及センターまでお問い合わせください。

水稻直播栽培面積の推移

本県における直播栽培面積は、徐々に増え、平成 19 年度は 153 ㌠となっています。

また、直播栽培を導入している地域も 10 年前は花巻市を中心に極く限られた地域だけでしたが、平成 19 年度には県南平坦部のほとんどの市町村の他、山間地の西和賀町や県北部の軽米町などでも新たな取り組みが始まっています。



直播栽培における主な播種様式

区分	播種様式	播種方法			播種方法
		耕起	代かき	播種位置	
湛水直播	作溝条播	○	○	作溝表面	側条施肥田植機＋条播機など
	土中条播	○	○	土中	条播（または点播）
	表層（表面）散播	○	○	表層	多目的田植機＋播種機など
	無代かき播種	○	×	表面	動力散布機、産業用無人ヘリコプターなど
	不耕起播種	×	×	土中	専用播種機など
乾田直播	条播	○	×	土中	散播（または条播）
	不耕起播種	×	×	土中	トラクター＋ロータリーハローシーダーなど

～水稻直播栽培技術に関するお問い合わせ／最寄りの農業改良普及センターにご相談下さい～

中央農業改良普及センター（県域担当）0197-68-4435（地域担当）0197-68-4464
（遠野普及サブセンター0198-62-9937）（西和賀普及サブセンター）0197-82-3125

盛岡農業改良普及センター	019-629-6726	八幡平農業改良普及センター	0195-75-2233
奥州農業改良普及センター	0197-35-6741	一関農業改良普及センター	0191-52-4961
大船渡農業改良普及センター	0192-27-9918	（釜石普及サブセンター0193-25-2705）	
宮古農業改良普及センター	0193-64-2220	（岩泉普及サブセンター0194-22-3115）	
久慈農業改良普及センター	0194-53-4989	二戸農業改良普及センター	0195-23-9208